

# 会報 安曇野教育

第70号

発行所 安曇野市教育会  
発行人 松尾 修  
編集 会報委員会

発行日 令和3年 7月 16日  
題字 川田 殖

## できること一つずつ

会長 松尾 修

昨年度、新型ウィルス感染症拡大防止のために、教育会の多くの事業が中止となりました。今年度は復活の年として再スタートを切れるだろう。そんな期待はもろくも崩れ、今年度も感染状況を勘案せざるを得ない状況です。これまで、5月15日に予定していた「総集会」や、「安曇野の先人等に学ぶ会」といった大人数を集める会は中止とさせていただきました。一方で、「初任者歓迎研修会」は実施、7月末に予定されている「実技講習会」も哲学講座以外は実施の方向で計画を進めています。また、委員会活動、同好会活動も活動を始めています。感染状況を注視し感染対策を施した上で、集団の規模等を

考慮し、可能な事業は実施していこうというのが今年のスタンスです。

初任者歓迎研修会は、5月27日に信濃教育会との共催で行われ、安曇野市で教員としての一歩を踏み出した12名の先生方が参加されました。研修会中、会員代表の3名の先生方に先輩としての話をいただきました。ほどよい緊張感を保ちながらそれぞれの学校で奮闘しておられる初任の先生方の前途が楽しみに思え、また、余裕が感じられる先輩の先生方の存在が頼もしくもありました。先輩の先生の話で、「昨年度は、初任者同士が集う会がほとんどできなくてさみしかったです。」という内容が語られました。他校の先生方と顔をつきあわせて言葉を交わす機会が、私たち教師にとって大事な場になると改めて感じました。また、実技講習会特別委員会は、委員の皆さん同士で実施内容を検討する活気のある場となりました。

昨年度、事業縮小を余儀なくされた中、教育会の存在意義を自問しました。安曇野市教育会は明治21年に創立されて以来、130年余の歴史を刻んできます。長い歴史の間には想像を超える危機が訪れたこともあったことと思いますが、今に至るまで途絶えてはいません。それはおそらく、どの時代でも教師として自ら求める研鑽の灯火が消えることがなかったからでしょう。時代に応じた教師の資質・職能の向上や生涯学習の充実を支える役割を果たすという理念が、教育会の存続を支えているのだと思います。教育会の活動を通じて知り合った人たちとのつながりや人から刺激を受け、対話を通して新しい視点に気づいたり視野が広がったりする経験が、教師としての専門性や、見方、考え方に影響を与えてくれるように思います。

探りながら実施をしていく今年度の教育会事業ですが、会員の先生方の主体的な参加・参画により、価値ある活動を少しずつ重ねていきましょう。

## 「先人等に学ぶ会」

昭和54年、第23回岡村千馬太忌は、城山での碑前祭は例年通り行われ、その後会場を南安曇教育会館に移して「岡村千馬太先生像」のレリーフ除幕式が行われました。その時の経過報告には、「昭和42年に発刊した『岡村千馬太先生』の扉写真をもとに製作を進めてもらったが、髭のあるなしが問題となり、最終的には梓尋常小学校の卒業写真をもととして髭のある先生像が完成した。台座はアフリカ産の黒石を使用した。」とあります。

岡村千馬太先生は中央の一流の人々との交わりが実に幅広く学者、国士、思想家、政治家、財界実業家等々枚挙にいとまがありません。明治・大正・昭和にわたり、我が国をリードした人たちばかりです。南安曇部会の初代会長として五年の長きにわたって務められた岡村在りし日を偲ぶとともに、その人柄や教育思想に触れ、教師として、また会員としてのあり方を求め、明日からの道標とするために始まったのが岡村千馬太忌です。



松本市城山での建碑の翌年(昭和32年)から毎年6月、先生の遺徳を偲び岡村千馬太忌を開催し、碑前祭の後、懇親追憶座談会を開くことにしています。令和3年で65回を迎えました。会場は初めの2回は、松本城山の義民塚社務所を借りていましたが、第3回(昭和34年)からは社務所東の義民会館で、また、第19回(昭和50年)からは一軒家(屋号)を借りて開かれていました。第29回(昭和60年)からは、城山の碑前祭の後南安曇教育会館に戻って記念講演会を開くようになり、これが現在の先人等に学ぶ会へと脈々とつながっています。



第65回を迎える今年度は、年度当初の常任委員会にてコロナ禍のため縮小して実施する方向が決定されました。6月10日に幹事が千馬太先生墓所および碑周辺の除草および清掃を行い、6月19日に教育会代表による墓参および碑前祭を実施しました。その後の記念講演会は、昨年度に引き続き中止としました。

三郷中萱にある千馬太先生墓所および城山にある碑の除草と清掃作業は、梅雨入り前の厳しい日差しの中での作業でしたが、全員がビーパーを持ち寄り、みるみる清美されました。

墓参および碑前祭当日はあいにくの雨模様でしたが、墓所も碑もしっとり雨に濡れ、輝いて見えました。墓所では歓喜寺の住職様に読経を唱えていただき、焼香をあげました。碑前祭では、拝礼の後、献花、献酒を供え、写真撮影を行いました。その後、南安曇教育会館に戻り、務台理作碑・木村素衛碑に拝礼し、写真撮影を行いました。

参考文献 『南安曇教育会百年誌』P876～P888 より 『岡村千馬太先生』刊行の辞より

会報 安曇野教育 郷土文化財四十八

### 小川 大系「唐夫人像」



穂高等々力町で生まれた小川大系は、長崎の平和の像の作者である北村西望に三十五歳の時に弟子入りします。その後才能を開花させた大系は、数々の美術展に入選しました。戦後は安曇野に戻り、私たちが目にしたことのある作品を残しています。穂高神社の「狛犬」、穂高駅前彫像「登頂」などが大系の作品です。そして、この「唐夫人像」もそのひとつです。郷土文化財センターの一角に上品にたたずんでいます。

この他にも、郷土文化財センターには安曇野ゆかりの画家の作品が、展示してあります。ぜひ一度足を運んでみてください。(郷土文化財センター運営委員会)

## 「初任者歓迎研修会」

5月27日、安曇野市教育会・信濃教育会共催による初任者歓迎研修会が開催されました。安曇野市の小中学校に赴任した初任者が一堂に会し、教育会の意味を知るとともに、先輩会員の経験談を聞く機会をもち、今後の教育活動に期待や希望をもてるように毎年開催されています。

開会行事の後、郷土文化財センターの見学及び視聴覚協会の見学を行いました。その後大会議室に戻り、出席者から自己紹介があり、来賓挨拶、先輩会員代表の発表と続きました。今年度は豊科地区から 先生( 学校)、穂高地区から 先生( 学校)、堀金・三郷・明科地区から 先生( 学校)の発表がありました。その後は、分散会場にて懇談会が行われました。

参加された初任者の感想には、「郷土文化財センターには安曇野の教育を築いた先生方についての資料が大切に保管されていて、安曇野の教育に尽力した先人たちの功績を知ることができました。また、その資料を研究して、先人の考えや想いを読み取り、これからの教育につなげようと研究されているというお話を聞き、安曇野教育会の先人の教えから今後につなげようという強い意志を感じました。先輩会員の歓迎の言葉からは、これからの仕事への活力をもらえるような温かく、そして元気の出る言葉をいただき、嬉しかったです。3人の先輩方の実践からたくさんのことを学ぶことができました。」「先輩方のお話(失敗談など)が聞けて、何とか過ごしていた2ヶ月を頑張った、これから来る日々を頑張ろうと思える会でした。懇談会では初めての方ばかりでしたが、話をする中で緊張がほぐれました。日々の仕事について少し気が楽になったように感じました。」

「これまでの初任者研修では、初任者同士での話し合いが多かったのですが、今日は先輩先生の実践、生の声をお聞きできたことでイメージしやすく勉強になりました。」

参加した初任者の誰もが積極的で、意欲的に学ぶ姿が印象的でした。少しでも初任者の支えとなるよう、より一層充実した初任者歓迎研修会を目指して参ります。



### <東西南北>

## 「全県移動」



長野オリンピックスキージャンプ団体のテストジャンパーの秘話が映画化された「ヒノマルソウル～舞台裏の英雄たち～」が、6月に公開されました。テストジャンパーは、競技前や間にジャンプ台の状況確認のために飛躍し、その結果でスタート位置や競技続行の可否が判断されます。長野オリンピックといえば、県内の教職員の中からも競技役員やスタッフとして参加しました。当時、県の最南端の学校に勤務していた私にも、初任地の下高井で2校8年間スキー部顧問の経験があったことから声がかかり、クロスカントリーの競技役員として任にあたりました。顧問といっても、地元のコーチが行う技術指導以外の庶務や生徒指導を担っていました。冬のシーズン期だけでなく、夏場のトレーニングにも力を入れていました。学校練習の他に地域や県の合同練習もあり、ほとんど休みのない日々で年末年始も帰省しないこともありましたが、苦にはなりませんでした。大会引率で全国各地に行くことができ、オリンピックには教え子が選手で私は役員として同じ舞台に立つこともできました。

飯田育ちの私が、北の地に赴任しスキー部に携わったことで数々の貴重な経験をすることができました。そして今、安曇野に居を構えお世話になっております。



## 令和3年度 安曇野市教育会 同好会

本年度も以下の17の同好会が発足しました。感染症予防対策を施しながら、できる範囲の活動をしていってほしいと思います。

同好会名	会長（学校名）	幹事長（学校名）	会員数
国語			19
社会			27
算数・数学			22
理科			31
音楽			29
図工・美術			13
体育			28
技術・家庭			20
道徳			9
哲学			54
教育相談			18
人物誌			8
英語			21
情報教育			8
学校保健			20
特別支援教育			15
生活・総合研究会			16

※5月25日現在の人数です。

同好会員は随時募集しています。各校の代議員にお声がけください。

### <編集後記>

令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策のため予定していた教育会の行事が軒並み中止となっています。そんな中でも、少しずつ以前のような行事などができるようになってきました。このような状況ですが、できるだけタイムリーな内容で発行していきたいと考えています。忌憚のないご意見やご要望をお聞かせください。今後ともよろしくお祈りします。